

地下アイドルの感情労働

本論文では、地下アイドルの感情労働について研究した。地下アイドルとは、主にライブハウスでのライブやイベントを中心として活動しているアイドルで、メディアに出演する地上アイドルと比べて地下アイドルと呼ばれる。

地下アイドルが活動する上で、感情労働を行う場合がある。感情労働とは、感情規則が商業的に利用される場合において、職務の遂行を円滑に行うために自分の感情を管理し、特定の感情を表現することが求められる労働形態のことである。ファンとアイドルが対面もしくは声で接触する必要がある、ファンの中に感情変化を起こさせなければならず、アイドルの雇用者である運営や事務所は、管理して地下アイドルの感情労働をある程度支配するため、地下アイドルの労働は感情労働である。実際の感情と異なる感情表現をすることで感情的不協和に陥り、蓄積されることでバーンアウトに至るという問題がある。

地下アイドルは実際に感情労働をしていると感じており、特典会などファンと触れ合う場面でキャラクターを演じて自分を偽ること、時間外労働であり自分の感情とは無関係に更新を求められる SNS 更新などにみている。その要因としては、アイドルだからしょうがないと諦めざるを得ない環境であることやそのアイドルの管理体制にもあげられる。ストレスとなりにくい環境を作ることに尽力していくべきである。